

# 会 長 方 針

2017-2018年度  
会 長 金子一茂

## 活 動 方 針

2017-2018年度R I会長、イアンH.S.ライズリー氏は、“『ロータリーとはなんですか』という問いに『Rotary : Making a Difference ロータリー：変化をもたらす』というテーマで答えます。奉仕を通じて人々の人生に変化をもたらせると信じているからです。”と述べています。

こうしたR I会長のテーマに沿って寒川ロータリークラブでは、クラブの現状をしっかりと理解した上で増強・会員維持を最重点にします。寒川らしい奉仕を行うために、会員相互の状況を把握し、メンバー全員で考え、効果的でためになる楽しい例会を企画して、クラブの充実・自然に増強されるそんなクラブ運営を目指して行きたいと思います。この一年皆様の積極的な参加とご協力をよろしくお願いいたします。

## 活 動 計 画

1. 会員増強を最重点にします
  - ◇女性会員・若い会員の増強を軸に、純増3名以上
2. 戦略計画の実行
  - ◇公共イメージと認知度の向上
  - ◇長期計画目標と実行（5年を経過した「桜の植樹」計画の検討等）
3. 例会の充実と変革
  - ◇委員会に所属するメンバー全員で企画検討する
  - ◇会員スピーチの継続
  - ◇家族親睦例会の拡充（創立45周年目をクラブ内で祝う）
  - ◇公開講座の開催（公共イメージ向上に繋げる）
4. R財団・米山記念奨学会への寄付
  - ◇R財団寄付目標（平和への貢献・寄付という表現ではなく、奉仕活動への資金源であり奉仕活動への貯金）  
年次寄付：200ドル以上/人      ポリオ寄付：40ドル以上/人（フリーまでの理解）  
恒久基金寄付（ベネファクター）：1,000ドル以上/クラブ
  - ◇財団基金の活用：地区補助金・グローバル補助金を利用した事業の実施
  - ◇米山記念奨学会寄付目標：20,000円/人
5. 姉妹クラブとの交流
  - ◇台北士林RC・寒河江RCとの更なる親交
6. 2016年規定審議会決議導入（柔軟性の正しい理解）
  - ◇時代に即した改変を上手にクラブに取り込む（細則の協議・改定、担当委員会設置）